

真夜中の太陽 Vol.2

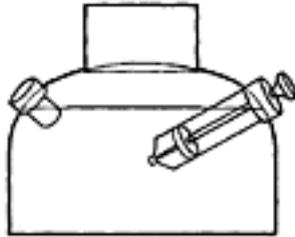
ランタンの使用方法

フューエルファネル

いつも白ガスを入れるときに使っている道具を「フューエルファネル」と呼びます。給油のコツは半分ぐらいまで入ったらゆっくり注ぎ、入らなくなったら満タン（八文目）です。ファネル内に残った燃料は、ファネルを少し持ち上げると入ります。私はこのことを知らなかったので、そろそろかなあと思ったときに抜いて中を穴から覗いて「もうちょっとかなあ」とかやってみました。トホホ……



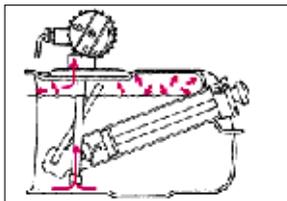
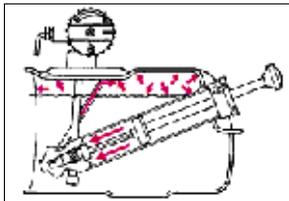
8分目とは……



燃料を入れすぎると空気圧をかけるスペースがなくなり、不完全燃焼の原因となります。タンク8分目（燃料が燃料注入口からあふれない程度）を目安に入れてください。コールマンでは、この8分目の状態を満タンと呼んでいます。

ポンピングはなぜするの？

コールマンのホワイトガソリンを燃料とする器具は、「ポンピングによって加圧した空気で燃料を送り出す」という独自の構造を持っています。ポンピングをしないと燃料が送り出せないで燃焼できません。燃焼する仕組みは、下記の通りです。



- 1.ポンピングで燃料タンク内に空気圧を加える。
- 2.圧力のかかった燃料と空気が混合されてジェネレーター内に押し出される。
- 3.ジェネレーター内部を通る燃料がバーナーやマンツルの燃える熱で気化される。
- 4.ジェネレーターから高圧で噴出される混合気は、バーナー部でさらに燃焼に必要な空気を取り込みクリーンに燃焼する。



1 タンクの8分目まで燃料を入れる。



2 ポンプノブを左に回して、親指で穴を塞いでポンピング。



3 上部のボールナットを取り外して、ベンチレーター、グローブを取り外し、マンツル取り付けの準備をする。



4 マンツルの取り付け。バーナーリングのくびれ部分に付け、余っヒモはカットする。



5 カラ焼きをする場合は、写真のようなガスライターがあると便利。まんべんなく焼くこと



6 燃料バルブを開いて燃料の噴出を確認したら、グローブの下から日を入れて点火。



7 点火したらポンピングを20回ほど。タンク内の圧を補い、火力を安定させるためだ。

先月は新聞発刊が遅れてすみませんでしたが、これからは力を入れていきます。また、今までの変わらぬ応援よろしくお願ひします。

道具は正しい知識をもって無理なく使い、メンテナンスをすれば長持ちするものです。どんな物でも地球の限られた資源により作られたもの。大切に使うてごみを出さない努力をしていきましょう！

編集後記

PRIVATE